

健康文化

## “あいち健康の森”

加藤 賢一

昭和60年来、愛知県では、巨峰（葡萄）の産地で知られる大府市及び知多郡東浦町にまたがる約100ヘクタール（約30万坪）の広大な地域に、国や地元在市や町と民間などが協力して、保健・医療・福祉・生きがいなどの総合拠点施設「あいち健康の森（仮称）」の整備を進めています。この地域は、気候温暖で、北は名古屋市、南は半田市に近く、国立の療養施設などがあるところです。

以前（創刊号）に、小林健康の森推進室室長（現 健康の森推進局長）によって“あいち健康の森”構想の詳細を紹介しました。

“あいち健康の森”には、国立の「長寿医療センター（仮称）」の建設が平成4年度から着手され、平成7年度の運用開始を予定しています。計画では、わが国の長寿科学医療等を推進するための中核的、総合的な機関として、研究施設と医療施設を一体化させたものになっております。そして、県民の健康づくりの相談や実践の場となる「健康開発センター」、健康や生命について楽しみながら体験・学習できる「健康科学教育館」、国の長寿医療センターとも提携しながら福祉施設・他の医療施設などを結ぶ福祉・保健・医療等の総合情報センターの役割を持った「中央管理センター」、宿泊と会議場を備えた「滞在型学習施設」の4施設の実施計画がまとまり、平成9年度のオープンを目指して、平成4年度には基本設計を行います。

ここはまた、建設省から「テーマパーク地区」の認定も受けました“健康と長寿”がそのテーマです。水と緑の豊かな美しいくつろぎの空間、魅力的な都市公園“あいち健康の森公園”が誕生する予定であり、その整備が着々進められています。

このほか、スポーツ・レジャーなどの生きがい関連施設や高齢化社会における地域ケアを推進するための諸施設を計画しております。

来る21世紀の長寿社会を生き生きと活力あるものとするため、今後“あいち健康の森”の整備を積極的に進めてまいります。（1992.4.）

（愛知県衛生部・健康の森推進局次長）

あいち健康の森(仮称)計画区域図

あいち健康の森(仮称)計画区域図

